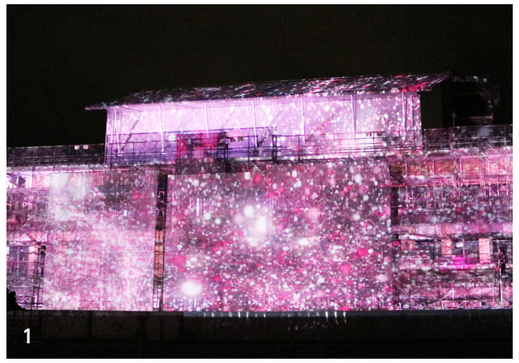
プロジェクションマッピング2016はるか 建設中のコミネスを舞台に光が舞う

4月15日・16日の2日間、建設中の白河文化交流館「コミネス」の壁面を舞台に、「福島プロジェクションマッピング2016はるか～白河花かがり～」が行われ、約1万4千人の観客が訪れました。

新種の八重桜「はるか」が全国で初めて南湖公園に植樹された縁、さらに10月に開館を迎える「コミネス」をPRするため、アフターデスティネーションキャンペーンに合わせて開催されたもので、建設中の建物への投影は世界的にも珍しいものです。

作品は3部構成で、第1部では新生相馬盆唄に合わせて踊る白河だるまが、第2部では地元「大信こだま太鼓」の勇壮な生演奏と融合した映像が映し出されました。第3部「白河花かがり」では、「はるか」の力強い成長を、本県の復興に重ねて上映し、会場からは拍手が湧き起こりました。

14日には、上映に先立ち公開リハーサルが行われ、制作者たちがそれぞれの思いを語りました。



1．桜が舞うフィナーレの映像　2．幻想的な光に照らされ演奏する大信こだま太鼓　3．コミネスの壁面を見上げる来場者　4．公開リハーサルで挨拶する関係者

白河小峰城さくらまつり 火縄銃の演武を披露

4月16日・17日の2日間、城山公園（郭内）で「白河小峰城さくらまつり」が開催されました。

16日は、しらかわ桜ウォークが行われ、参加者が市内の桜を満喫したほか、ステージでは、映画「おとめ桜」の公開オーディションなど、様々なイベントが行われました。

17日は、川越藩火縄銃鉄砲隊・甲冑（かっちゅう）武者行列および姫行列が行われ、本格的な装いで観衆を魅了したほか、火縄銃の迫力ある演武に、会場からは歓声があがりました。

▲川越藩火縄銃鉄砲隊による火縄銃の演武

白河ブランド認証書交付式 4品目が新たに認証

3月28日、「白河ブランド認証書交付式」が行われました。今回認証されたのは、3事業者4品目で、北條農園の「もも飴」、㈲新駒本店の「白河の関　老久保そば」、㈲日本メグスリノキ本舗の「えごまドレッシング」・「えごまポン酢」です。

「白河市農産物ブランド」は、白河の誇る優れた農産物や加工品を「白河ブランド」として全国へ向けてPRしていくもので、これまでに、13事業者27品目が認証されています。

▲認証品を持つ生産者の皆さんと鈴木市長

大信子育て広場オープン 地域で子育て支援

4月12日、大信保健センター（大信増見）に「大信子育て広場」がオープンしました。この広場は、地域で子育てを応援する「つどいの広場事業」を拡充したもので、NPO法人しらかわ市民活動支援会が運営する「おひさまひろば」が出張し、火・木曜日の週2回、午前10時から午後3時まで開設しています。

オープン当日は、しらかわんも一緒に子どもたちと遊具などで遊び、楽しい時間を過ごしました。

▲遊具で遊ぶ子どもたちとしらかわん

コオーディネーショントレーニング 知性と感性を高める

4月21日、五箇幼稚園でコオーディネーショントレーニングが行われました。運動を通して脳に刺激を与え、学習能力を高めるトレーニングで、徳島大学大学院荒木（あらき）秀夫（ひでお）教授の理論に基づくものです。

市では、同大学と連携し、震災後に運動不足が心配される子どもたちを対象に、運動指導を行ってきました。今年度から荒木教授の下でトレーニング方法を学んだ職員を配置し、指導に力を入れていきます。

▲五箇幼稚園でトレーニングを受ける子どもたち